

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・結婚式、開店祝い、ご葬儀、誕生日等に使う花束の数量が増えている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・高額商品、特に果物関係の上級クラスは、それなりの価格でも動きがみられる。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・全国的な売上をやや上回って推移した。03年度上期の伸びからはやや下回るものの、依然として前年実績をキープしている。初売り、セールは2けた増と好調であった。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・目玉消費をしないことは変わらないが、多少でも良いものを購買する傾向がみられる。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数の動きは前年比103.2%となり9月以降最高の伸びとなった。売上、客単価、一品単価ともに前年実績を上回っている。家庭用品、雑貨、子供服が好調となったが、紳士服、婦人服で同96%と若干の不調である。22～25日に雪が降ったが後半は取り返している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・中旬から相当冷え込んできたため、アウトウェアを中心に衣料品の売行き好調であった。また、干支に関連して赤い肌着等の売行きがよく、肌着は前年比120%となった。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・単価が全体的に下がっているため、売上には直接つながらないものの、来店客数が前年より伸びている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・12月以降、売上が前年水準に近づいてきた。冬らしい気候となったことで、鍋物材料を始めとする冬物素材が動き、雪の影響で落ちた売上がカバーしている。牛肉は若干落ち込んでいるが、豚肉が精肉全体を押し上げている。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・以前は売上が前年より1割程度落ち込んでいたが、今月は上がっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・今年は天候が良かったため、初商いが好調であった。お客様の動きもやや好調で滑り出し良好である。
		衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・宝石、貴金属、ブランド時計、着物の高級品等が好調であり、勢いが月末まで持続した。前年比10%以上売上が増加している。
		高級レストラン（専務）	販売量の動き	・新幹線効果で人の流れが少々増え、売上と来客数が増えてきた。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・12月の反動で売上が若干沈滞のみである。
		パチンコ店（店員）	来客数の動き	・新規店舗を開店したため比較的来客があった。既存店舗においても若干上向きになっている。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・計画の依頼が増えている。周りの競争相手の状況も同じようである。		
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・12月、1月と来客数が伸びている。注文住宅関係の問い合わせ、引き合いが増えている。		
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・暖冬の影響で衣料品にはブレーキがかかったものの、年末年始用の商材の中には売上が伸びているものもある。以前と傾向は変わらず、横ばいの動きである。	
	商店街（代表者）	単価の動き	・新年は人の動きが少し良かったが、中旬以降、中心商店街の人手は少なくなり、現在に至っている。人の動き、販売量は横ばい、もしくは少し下降のみである。	
	商店街（組合職員）	来客数の動き	・郊外の低価格志向スーパーは、開店から深夜まで、曜日を問わず買物客が多い。決して買いやすい造りではないが、低価格の面で日用必需品、食材を買って客が集まっている。価格に対する厳しさがうかがえる。	
	商店街（代表者）	単価の動き	・年末年始の入出が少ないという話を聞く。雑貨類や小物は良く売れたようだが、高額商品を購入していた中高年層の動きが鈍かった。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心商店街への来街客数がほとんど変わらない。やはり郊外店との競合が厳しくなっている。	

スーパー（店長）	単価の動き	・客数は結構増えているが、客単価が非常に低く、買上点数も伸び悩んでいる。
スーパー（店長）	単価の動き	・気温が下がり冬物衣料が好調であったが、客単価が低かった。
スーパー（店長）	単価の動き	・買上点数、来客数は伸びているが、一品単価が前年を割り続けている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・酒類免許の規制緩和により酒類取扱店が増加傾向にあるが、プラスアルファの買上につながっていない。また酒類取扱店が増加しても酒類消費量は変わらないため、既存で酒類を取り扱っている店舗の酒類販売金額・客単価の下落が目立つ。
コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数はそう変わらないが、単価が400円から350～360円に下がっている。
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店のパン売上は前年比5%減、デリカは同14%増である。一方、コンビニのパン売上は前年並み、デリカは5%減である。量販店の時間延長により、コンビニの売上がやや下がっている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・相変わらず気温が低いため冬物衣料が好調である。価格より暖かい商品を中心に売れている。ただ暖冬を予測していたため品ぞろえが十分ではなく、客に対応できなかった。景気はそう悪くない。
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・セール時期で値段が半額になっていても、その分何枚も買うということはなく、本当に必要なものだけを買うという状況が続いている。景気は上向いているという話も一部にあるが、一般消費者はいっさい無駄遣いをしないというスタイルが定着している。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・正月販売の動きは良かったが、その後売上の落ち込みがあったため、トータルでは変わらない。
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・単価の安い車の契約が全体の約60%を占めており、なかなか景気が上向かない。
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・販売量が若干上向きであるが、単価は依然として低価格のものが多く。
その他専門店 [医薬品]（従業員）	販売量の動き	・季節商品の動きが非常に悪い。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・正月、1月の売上とも昨年並みである。寒波で灯油の需要が増え、一時的に出荷量が増えた。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	競争相手の様子	・特に表立った数量、販売増は感じられない。ガソリンスタンドの店頭表示価格は仕切価格よりも、社内の景気によって動いているので、動きが感じられないということは、他社も安定しているということである。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は少し波があったが、予想以上に来客があった。例年では忘年会シーズンでずっと忙しさが続くが、年明けはかなりゆっくりである。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・10月中旬と比べるとあまり変わらないが、15日くらいまでは正月の景気が持続していた。
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・目標比、前年比とも達成できなかった。1月22日から始まった長崎ランタンフェスティバルも雪のため思うように客足が伸びていない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・個人客の来店が増加している。
タクシー運転手	お客様の様子	・冬物バーゲン等で客は若干動いているようであるが、実際買物はあまりされていない。
タクシー運転手	来客数の動き	・長崎ランタンフェスティバルが開催されたが、天候の影響で客の動きは昨年と比べるといくらか少ない。
通信会社（管理担当）	お客様の様子	・景気が上向くとマスコミでは言われているが、受注の状況を見ると完全に上向いているとは言えない。また解約に関して、経済的理由も多くなっている。
観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設は、客数が前年比12%増となった。実感として景気が良いとは思えないが、数字上は10%上回る増加となった。ゴルフ場は、前年より客数が同6%増である。天候は昨年と同じく悪かったが、安定した客数が見込まれるようになった。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・寒波の影響で客足が伸びない。

	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・ゴルフ場の入場者は昨年並みである。韓国、中国等からの客が昨年より2倍近く入ったがその分地元が減った。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・新春から福袋企画として百貨店と共同でイベントを行ったが、来場者数は昨年と変わらず、来客は増えなかった。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月から商店街の来客者が少なくなっている。毎年3が日は初詣の客が来るが、今年は厳しかった。特に近隣に大型商業施設ができたことも影響している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・長崎ランタンフェスティバル開催されたが、天候が悪く、客の動きは鈍かった。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・例年になく大雪の影響で、商店街はがらんとしている。また、最近鳥インフルエンザの問題が消費者の恐怖心を引き立て、マインドの低下を招いている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月の客数は微減にとどまったが、客は必要なもの以外買わず、1人当たりの買物点数が減っている。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・これまでは「ポイント3倍の日」は来客が多かったが、今では普通の日と変わらなくなった。
	スーパー（総務担当）	それ以外	・大寒波と大雪により客数が減少している。
	スーパー（企画担当）	それ以外	・1月前半の温暖化により、冬物雑貨類の動向が不振となった。中旬以降は急激な冷え込みと積雪等により来客数が減少した。また、BSE発生による米国産牛肉の品薄や不安感、鳥インフルエンザ発生による鶏肉の敬遠等によって苦戦を強いられている。
	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・修理や中古車の販売に関してはますますであるが、新車販売は非常に商談が成立しにくく、客が慎重である。客の来場はあるが、高額車はなかなか売れない。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・1月は新年会の時期であるが、今年は少ない。寒いこともあり、来客数が少ないようである。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・思わぬ寒波に見舞われ、客足が伸びず、売上がかなり落ち込んだ。また新年会の予約等も少なかった。寒さが厳しいためか、体調を崩している人も多く、勧誘をしても、来店に結び付かない。
	その他飲食〔居酒屋〕（店長）	来客数の動き	・とにかく12月から1月にかけて来客数が少なかった。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・たとえ新しい複合施設ができていても、数か月後に足を運ぶと人が一気に少なくなる、という傾向があるため、景気は悪くなっている。
	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・鳥インフルエンザ、またSARSの影響で、海外旅行が伸び悩んでいる。来店客数も少なくなり、3か月前よりも少し悪くなっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・正月明けは、今までになく客の動きが良くない。夜の繁華街でも店を辞める方がたくさんおり、タクシー客も極端に減って今月の売上は今までで最低である。
タクシー運転手	お客様の様子	・団体客はいつもと変わらないが、タクシーの利用客はいつもより少ない。	
通信会社（業務担当）	販売量の動き	・1月はキャンペーンもなく、他携帯電話会社の契約が伸びており、販売台数が大きく減少している。高値販売の維持とアフターサービス強化で何とか収益維持を行っている。	
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・携帯電話の販売状況としては、安価な旧機種を買い求めるお客様が多く、高値の新機種にはあまり興味を持っていただけない。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・年末年始の展示場来場者の動きが昨年より多少悪い。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・1月後半に2日連続で積雪があり、九州地方は入出が全くない状態であった。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・近くに大型店の出店等があり、来客数が落ち込んだ。小売店、スーパーが多すぎるという状況で、需要と供給のバランスが取れていない。
	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・初売り福袋は高い伸び率を達成したが、クリアランスは低迷した。また競合他店の進出と福岡商圏の拡大、一極集中傾向に歯止めがかからず、客数は前年比の90%に届かない状況が続いている。

		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年11、12月、悪くても1月には急回復するが、車販売の業界として今月は悪い。単価も下がっているし、店頭来客数も少なく、引き合いも少ない。景気は非常に悪い。
		高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年1、2月はシーズンオフで暇なのだが、今年は下旬からの寒波により更に暇である。
企業 動向 関連	良く なっている	電気機械器具製 造業(経営者)	それ以外	・半導体関連は現在のところ残業で生産をこなしている状況であるが、これは一過性のもので長期的な安定には至らない。
		精密機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・納期を守れないほど受注が増えている。
	やや良く なっている	家具製造業(従 業員) 建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き 取引先の様子	・福岡やその他地方都市において商業施設の新設や改装等が今年3月まで集中している。 ・県外大手資本の遊技場が進出している。それに対抗して地元企業の新たな店舗の建設、既存店の改装があり、受注増に結び付いている。
	変わらない	農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・例年、1、2月は極端に消費が落ち込む月であるが、今年はBSE発覚による鶏肉消費の変化に注目していた。ところが国内で鳥インフルエンザが流行したため、鳥離れが出ている。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・3か月前は秋口に向かったの需要があったが、昨年はあまりその動きがなかった。今年度名古屋で行われた見本市でも、単品類はいくらか動くものの、ギフトはあまり変わらない状態であった。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・相変わらず受注が継続せず、山、谷の差が激しい。また、短納期化が進んでおり、仕事はあるが、受注できないような状況もある。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・仕事量はある程度確保できるようになってきたが、価格面で非常に厳しくなっている。
		電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・半導体関連では、大手の動きは非常に活発であるが、不透明な点もある。全体的な動きとしてはいい状況での動きだと判断される。
		広告代理店(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・今月の新聞折込広告は、受注量が前年並みに戻った。依然景気の見極めが難しくなっている。
		経営コンサルタ ント	取引先の様子	・大きな寒波が来た関係で、冬物衣料を中心とした売上はそこそこ上がっている。しかし大雪が2、3日続いたことで交通機関がストップし、タクシー、御用聞き販売等が完全に2、3日休業状態になり、かなり厳しい状況であった。全体としては、良くなったとは言えない状況である。
	やや悪く なっている	農林水産業(従 業者)	受注量や販売量 の動き	・BSE、鳥インフルエンザの影響を受け、販売数量がやや悪くなった。
		農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・月初、年末年始の品薄から、やや価格は高めに始まったものの、すぐに下落し、依然として前年の50~60%の水準である。
		食料品製造業 (専務)	取引先の様子	・焼肉レストラン8店舗が一昨年来のBSE問題により売上減となり、本店を含め、昨年末ですべて閉鎖した。
		金属製品製造業 (企画担当)	受注価格や販売 価格の動き	・厳しい価格競争が続いている。客先の購買担当からは、最低価格から更に指値で交渉を受けている。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・資金需要は乏しく、中小企業の業況は本格的な回復には至っていない。
	悪く なっている	繊維工業(営 業)	取引先の様子	・大きな案件が海外に行ってしまった。それにより海外生産を請け負ったメーカーも利益が出ず、また、それまでその案件をやっていた国内の工場など軒並み閉鎖に追い込まれた。
		輸送用機械器具 製造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注数量が今までよりも45%減少した。
		輸送業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・受注件数も受注量も例年になく最悪の数字で推移している。ここ10年間の間で最も荷動きの悪い状況である。
		経営コンサルタ ント	競争相手の様子	・酒は取引先の受注量が極端に減っていて、業務筋、マーケット、飲食店の受注量が先細りになっている。業務酒屋の状況が悪化し、資金難に陥っているところもみられる。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-

やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・最近の派遣のオーダーの傾向を見ると、短期中心から長期のオーダーが多くなっている。社員の補充、退職補充に関して、長期安定的な派遣が多くなっている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・今月に入り求人数が前月比1.5倍と飛躍的に増えた。求職者も就業している人が多い。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・先月までは企業倒産が多かったが、今はあまりないようだ。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・電子部品組立を中心に前年比で求人数の増加がみられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・デジタルカメラ、半導体生産等の好調な製造業を始め、ほとんどの主要産業からの新規求人数が前年比でここ数か月増加となっている。
	民間職業紹介機関（支店長）	採用者数の動き	・需要が前年より10%程度増加しており、地域によっては、2けた後半の伸び率を示している。また、価格面では、下げ圧力が幾分落ち着いた感がある。しかし料金改定(単価アップ)には結び付かない。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・教育産業、IT系の採用が件数的には目立つが、採用人数は少ない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数については9か月連続増加し、ここ3か月は前年比50%増を超えている。しかし内容はパート求人、派遣請負であり、非正規型求人が多い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人倍率の推移が引き続き上昇傾向にあるものの、依然としてその要因が業務系事業所、派遣事業所からの求人増によるものである。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・増加傾向にあった新規求人数の増加幅が縮小している。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・常用の採用が減り、契約社員での採用が増えてきている。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-